

地域おこし協力隊とは？

人口減少や高齢化などが進む地方で、地域外の人を受け入れ、地域協力活動を行ってほしい、その地域への定住・定着を図ることと、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度です。

芦屋町地域おこし協力隊 入江 俊充さんのコラム

こんにちは、地域おこし協力隊の入江です。
 今回はボートレース芦屋で開催された読売新聞社杯G I 全日本王座決定戦開設 69 周年記念の撮影と築上町の地域おこし協力隊の視察に行ってきたのでその様子をお伝えします！

いりえ としみつ
入江 俊充 (33 歳)

宮城県仙台市生まれ兵庫県神戸市出身
 東京と大阪で長く働いていました。
 WEB を活用した情報発信が得意。
 趣味は釣りと最近始めたゴルフ！



■ボートレース

1月21日～26日、ボートレース芦屋で開催された読売新聞社杯G I 全日本王座決定戦開設 69 周年記念の撮影に行ってきました。

競走水面際に立って実際のレースを見てきました。ボートが走り抜けるスピード感や大音量のモーター、船底にぶつかる水面のバスのバツという音、水しぶきなど、生で見るとすごい迫力でした！



また、ボートレース芦屋は、昨年、子どもの遊び場「Moovii 芦屋」のオープンや「あしや夢リアホール」のリニューアルオープンなどがあり、家族連れで楽しめる施設になっているので、近隣の地域の皆さんにも知ってもらって、来てもらって、もっと楽しんでもらいたいですね。



日々の活動は Instagram で発信していますので、フォローして活動を応援してもらえると嬉しいです！



▷お問い合わせ 地方創生推進係 (☎223-3571)

■築上町の地域おこし協力隊は元アマチュア力士

築上町は芦屋町と同じく航空自衛隊基地が町内にあり、海に面しています。そこで地域おこし協力隊をしている松村一成さんの活動を視察してきました。



松村さんは、高校時代に全国大会の個人でベスト8に入ったこともある元アマチュア力士で、漁師になるため協力隊になった人。異色の経歴ですね。

築上町では、漁業に特化した協力隊として、特産品の「豊前海一粒かき」などの養殖を中心とした水産振興に取り組んでいます。3年の任期がまもなく終了し、4月からは漁師として独立するため船も購入したそうですよ。

松村さんの活動や任期終了後の目標などを聞くことができ、とても刺激になりました。芦屋町と築上町とで、今後も情報交換し、互いの町の良さを生かした取り組みができればと思います。

帰り際、お土産にと、大量の豊前海一粒かきをいただきました。

たまたらぬおいしさ！



芦屋歴史紀行

その三百十

◀平家知行地（五味文彦氏原図改変）

その時、
芦屋で歴史はつくられた
決戦 源平合戦②

平家にあらざるは

「此の一門にあらざらむ人は皆人非人なるべし」（『平家物語』）。これは平清盛の妻時子の弟である、平大納言時忠の発言だと伝わる言葉です。清盛は従一位、太政大臣に登り、長子重盛は諸国守護権と称すべき公認権限を持っていました。清盛の妻時子の妹滋子は後白河法皇の後宮に入って高倉天皇の母となり、清盛の娘徳子（のちの建礼門院）は、高倉天皇の后となり安徳天皇を生みました。天皇の外祖父の地位を清盛は得ることとなったのです。

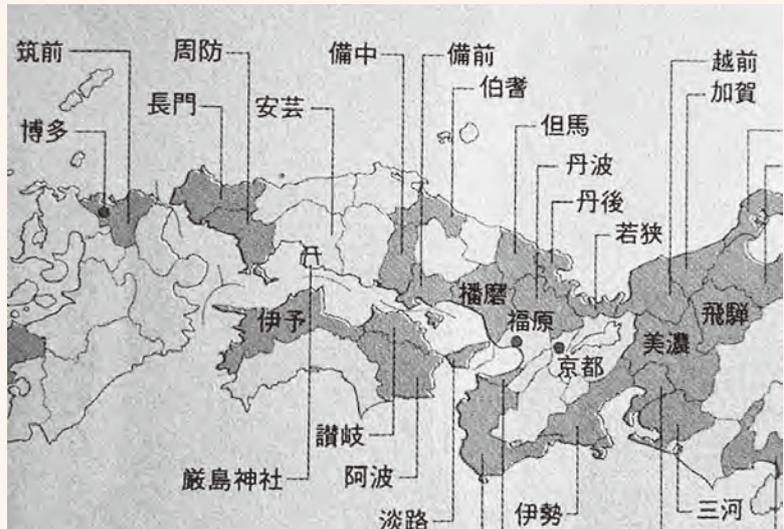
さらに清盛の娘盛子は関白藤原基実の妻に、同じく娘の完子は基実の息子基通の妻となりました。摂関家藤原氏の実権までもが、清盛の手に入ったのです。京の都の西部、六波羅の地には清盛の屋敷泉殿を中心に一門の邸宅が並び、さらにその周りを郎党らの舎宅が取り囲みました。これら大小の屋敷の総数

は3200軒以上となったそうです。まさに「平家にあらざるは」の言葉どおりと思わせる平家一門全盛のありさまでした。

日宋貿易の巨富

平家一門の占める知行国は瀬戸内海の沿岸に多く分布し、政権の財政基盤となっていました。京から瀬戸内、関門海峡をへて博多、大陸へと至る日宋貿易ルートは平家の最も重視するところでした。大輪田泊は改修されて国際的な貿易港（後の兵庫津。現在の神戸港）となりました。その大輪田泊を擁する福原の都市（現在の神戸市兵庫区あたり）は、平家による西国支配の一大拠点として開発され、唐船に乗った宋人の一行が福原を訪れる世になりました。一時期は安徳天皇の在所とされ、後の世でいう福原遷都までが行われました。

「綺羅充滿して堂上花の如し。軒騎群集して、門前市をなす。楊州の金、荊州の珠、呉郡の綾、蜀江の錦、七珍万宝一つとして闕けたる事なし」：『平家物語』にはこのよう



に国際色豊かな富の集積が表現されています。

貿易ルートの中でも特に重要な博多と下関間の響灘を、強力な水軍力により押さえていた山鹿秀遠は、平家陣営にとっても重要な与党でした。現在の芦屋町でも日宋貿易の余韻を、金屋遺跡の発掘で見つかった輸入陶磁器や海辺での漂着銭か

らうかがうことができます。
（芦屋歴史の里）

編集後記

▼中央公民館講座の中でスマホ・タブレット講座が人気だそうです（まちのわだい（7ページ）に掲載）。私はいえは、スマホを使った電子決済は便利そうだと思います。思いがけず使ったことがありません。「そのうち始めよう」と思っている長い時間が過ぎてしまっています。つい同じような感覚になってしまっているのがマインポイント制度。これも手続きすればポイントがもらえるのですが、「そのうち…」と思いがちです。動き出しさえすれば「お得」にたどりつけるので、自分スィッチを入れようと思います。皆さんはいかがですか。（那木）

▼日本史は高校時代に勉強した程度で、深くは知りませんが、芦屋歴史紀行は分かりやすいので毎回楽しみにしています。NHKの大河ドラマ「鎌倉殿の13人」、1月放送では、関東で平家を倒すための策略をしており、2月になって戦がスタート。素人の勝手な私の予想ですが、南下して関門海峡、芦屋浦にやってくるのは初夏頃かなあと。このドラマ、登場人物が多すぎて、甲冑もみな似ていて、源氏が平家かの判断は情けないけど台詞を聞いて判断するというレベル。それでも、片岡愛之助演じる北条宗時が早くも倒れ、宗時ロスです。（鉄守）